

研修会報告

2022年4月14日(木)14:00~15:45 オンライン開催
第12回 ワールド・カフェ♪~地域で生きるために~
「地域での看取りを知る~多職種からみた在宅看取り~」(47名参加)

神戸市ケアマネジャー連絡会の方をお迎えし「在宅看取りの現状と問題について」をご報告をいただきました。

後、ブレイクアウトルームを活用して1グループ4~5人で3回話し合いを行いました。

話し合い時、西区内勤務の多職種の方々に進行のご協力をいただき、7名の多職種の皆様からラウンドの様子・感想等を発表頂き、学び・気づきを皆様と共有しました。

報告「在宅看取りの現状と問題について」
神戸市ケアマネジャー連絡会
西区理事 藪本 眞理子氏



報告では、在宅看取りの経験がない方にもイメージできるように、在宅看取りでの多職種チームアプローチを実施する上での現状と課題についてわかりやすくご説明をいただきました。

《ラウンドで話されたご意見を一部紹介》

第1ラウンド「在宅看取りで重要な場面について思うこと」

- ・在宅看取りが選択肢としてあげられるか(社会資源、本人と家族の関係性)
- ・急変時の対応について 本人と家族と事前に話し合い 意思確認が必要
- ・ケアマネジャーの役割
- ・在宅看取り時、常に傍に家族が付き添い、ご本人と同じように訪問に期待し、頼りにしているのだと思う
- ・本人・家族の意思をくみとっていくことが重要

第2ラウンド「チームで本人・家族をサポートする場面で思う事は」

- ・本人の病状の受容が不十分な場合がある。病院や医療従事者から、しっかりと説明すること、受容の度合いも含めたメンタルチェックが大切
- ・本人・家族の意見の調整、本当はどうしたいのか
- ・看取りに至る時間の中で、それぞれの役割をどうとらえ、その役割をいかに果たしてもらえるか
- ・多職種が情報を交換し共有し、意見を出し合い、チームでより良い看取りができれば

第3ラウンド「第1・2ラウンドに参加して思った事、メンバーに伝えたい事等」

- ・本人家族の意思確認の難しさ
- ・それぞれの役割を確実にに行い、家族を含めたチームとして本人の最期を支援すること
- ・わかりやすい言葉で説明、ちょっとした情報が大切
- ・ケアマネジャーは「ハブ」の役割
- ・多職種の更なる連携が必要だと思いました

【研修会の学び】

※アンケート一部抜粋

- ・看取られる側の心の動きがとても勉強になりました。何ができるか考えさせられました(薬剤師)
- ・どのような場面においても意思の確認は真に大切でありながら、非常に難しいものであることを強く認識しました(薬剤師)
- ・自身が感じている事と参加者が感じている事に相違があり、更に情報共有をしている必要がある(PT)
- ・具体的な困った場面での対処方法を教えてもらえました(ケアマネジャー)
- ・何気なくやっている連携を見直したいと思った(ケアマネジャー)
- ・看取りについてのケアマネジャーの役割について、再認識ができました(ケアマネジャー)
- ・皆さんの話を聞いて、とてもたくさん得るものがありました。往診にも物怖じせず同行させていただこうと思いました(ケアマネジャー)
- ・ケアマネジャーが要になり、チームでの意思統一を図っていききたい(ケアマネジャー)
- ・情報共有の大切さ(ケアマネジャー)

【研修会の感想】

- ・職種をまたいで、気楽に話を聞ける機会として参加させていただいています(ケアマネジャー)
- ・対面よりオンラインの方が意見が言いやすいです・Zoomだと参加しやすいです(ケアマネジャー)
- ・色々な方とお話ができるので参考になり、とても勉強になりました(ケアマネジャー)
- ・経験豊富な方々のご意見を聞かせ頂き、大変勉強になりました。自身においても、もっと積極的に在宅医療や在宅介護に参画し、患者様や利用者様に貢献、影響が与えられるようになりたいと感じました(薬剤師)